

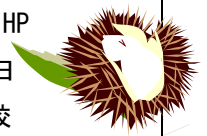


金楽寺

学校通信 第13号 HP

令和3年10月29日

尼崎市立金楽寺小学校



「秋の日はつるべ落とし」

秋の夜長の時季になってまいりました。「秋の日はつるべ落とし」とは、昔からよく言ったものでした。一年の中で昼間の時間が一番長い夏が過ぎ去って、秋になると、少しずつ日が落ちるのが早くなってきます。気がつくと、いつの間にか暗くなってしまっていることを表わしたことわざです。つるべは、井戸水を組むときに使った桶と縄、滑車などを利用した一連の装置のことです。桶を井戸に落とすとあっという間に下へ落ちていく様子を日が落ちるのに見立てたようです。

このところ、日によっては、肌寒さを感じる日もあり、また、一日の気温差が大きい日も多くなってきました。体調管理に気をつけていきたいものです。

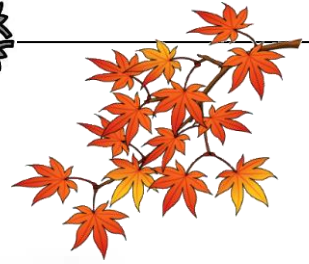
11月からは、下校時刻も変わります。防犯ネットからの情報では、市内及び近隣都市でも、小中学生へのつきまといや声かけ、無断撮影などの事案が毎日のように入ってきます。校区付近での報告も出されています。放課後に遊ぶ時間や帰宅時刻などについても、一度、各ご家庭でもお子さんと話し合っただけであればと思います。

《児童用タブレット端末の活用について》

昨年度末より、尼崎市では、一人に一台ずつ、児童用タブレット端末を活用した学習活動を進めています。本校でも、観察や実験などでの記録用の映像をとったり、学習のまとめに使ったりし、有効に活用できるよう教員間で情報交換や研究をしながら、活用を進めています。児童間での情報交換がよりスピーディーにできたり、プログラミング的思考の習得に役立てたりするなど、活用の効果も見られます。今後、さらに効果的にタブレット端末の活用を進め、児童の学びと成長に役立てていこうと考えています。つきましては、次の事柄について、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

- 学習過程で、児童が映した画像に、お子さんが映りこみ、記録映像として保存されることがあります。映り込んだ画像については、児童の学習目的または、教員の指導力向上のためにのみ、使用いたします。
- お子さんがタブレット端末を持ち帰ることがありますが、タブレット端末等に保存されている内容については、児童の学習目的のみの使用に限らせていただきます。
- 持ち帰った際にも、使用時間を守り、学習目的のみに活用するようご家庭でもご指導ください。

11月の行事予定



自然学校は、校内または、校外で、5日に分散しての実施となっています。

- 1日(月) 朝会 クラブ
- 2日(火) 自然学校(5年):有馬富士,丹波立杭焼き
- 3日(水) 文化の日
- 4日(木) 諸費納入日
- 5日(金) シェイクアウト(地震対応)訓練
(6年午後下校)
- 8日(月) 修学旅行(6年) 姫路・丹波・豊岡方面
- 9日(火) 修学旅行(6年)
- 10日(水) 午後下校(6年)
- 11日(木) 避難訓練 牛乳パック回収日
- 12日(金) 自転車教室(3年)
- 15日(月) 自然学校(5年):尼崎スポーツの森
5・6校時のみ水曜時程 ※
- 16日(火) 自然学校(5年):丹波少年自然の家
- 17日(水) 委員会
5・6校時のみ月曜時程 ※
- 22日(月) 朝会
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 25日(木) 凶工展 金曜時程 ※
県立尼崎高校体験出前授業(4年)
- 26日(金) 凶工展 木曜時程 ※
- 27日(土) 凶工展
- 29日(月) 凶工展代休日 (※印の日は、学年によっては、下校時刻が普段と違ってきます。)

諸費納入日(2回目)

●12月の主な予定●

- 8日(水) あまっ子ステップアップ
調査事業, 校外児童会
- 15日(水) ファミリー活動
- 21日(火) 給食終了
- 24日(金) 終業式・大掃除



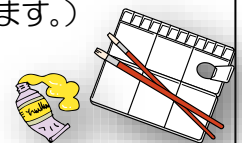
《凶工展 11月25日～27日》

児童が自分の感じたことや思いをのびのびと表現した力作を展示します。

児童のがんばりをできるかぎり多くの方にご覧いただきたいと考えています。人は、自分のがんばりを認められ、ほめられることで次への意欲へとつながっていきます。是非ともお子さんに励ましの声をお願いします。

感染症対策として、密を避けるため、保護者及びご家族等については、各時間帯に分散してのご鑑賞とさせていただきます。(詳細は、後日お知らせします。)

- 11月25日(木) 1校時～6校時 児童鑑賞
- 11月26日(金) 1校時～4校時 児童鑑賞
13:00～16:00 保護者鑑賞
- 11月27日(土) 9:00～12:00 保護者鑑賞 4校時まで授業
13:00～16:00 保護者鑑賞



※感染症の状況によっては、予定を変更することもあります。

《創立記念日特別号のクイズの解答》

みなさん、学校通信第12号の金楽寺小学校創立記念日にちなんだクイズは、わかりましたでしょうか。クイズの解答と簡単な解説をお知らせします。



Q1 校区内には、金楽寺というお寺がある。

(答え：イ ない)

現在はありません。以前は「錦楽寺」というお寺があったそうです。今から1300年ほど前の奈良時代に吉備真備（きびのまきび）が遣唐使として、唐（現在の中国）に渡って様々なことを学び、新しい知識を習得しました。日本に戻るときに、唐の土を錦（にしき：いろいろな色の絹糸で織った貴重な布）に包んで持ち帰ったそうです。そしてその土を長洲の地に持ってきて「錦楽寺（きんらくじ）」というお寺を建立（こんりゅう）したと言われています。1700年代の書物では、「錦楽寺村」という地名は残っていますが、「錦楽寺の旧跡なり」との記述があることから、そのころにはすでに「錦楽寺」というお寺はなかったものと思われます。ただ、祠（ほくら）が残っており、現在では吉備彦神社の東隣にある祠がその名残かと思われます。（「金楽寺」の名前の由来の詳細については、学校ホームページの今年の学校だより（10月号② <http://www.ama-net.ed.jp/school/e14/docs/O1%20R2gakutu10-2.pdf>）からご覧いただけます。

Q2 今からちょうど60年前の昭和36年には、児童数は約何人だったでしょうか。

(答え：ウ 1400人)

現在の児童数は517名ですから、2倍以上の児童がいたこととなります。クラス数も多く、全学年の学級を合すると28クラスあったようです。（今は特別支援学級を含めて21クラス）教室や運動場はどうしていたのでしょうか？

Q3 昭和36年に卒業した6年生は、1学級におおよそ何人いたでしょうか。

(答え：ウ 48～49人)

昭和36年度卒業生の卒業アルバムを見てみると、6クラスまであり、どのクラスも48～49名いました。法律等で定められる1クラスの児童の上限人数が今とは、違っていたためです。（兵庫県では現在、1～4年生が1クラス35人まで、5・6年生が1クラス40人までです。）昭和36年当時の教室は、子どもたちでいっぱいだったでしょうね。

Q4 現在、職員室や図書室があるところは、以前は、職員室などはありませんでした。では、昭和43年に完成した今の体育館の下には、いったい何があったでしょう。

(答え：ア 駐車場)

体育館の下（1階）は、基本的に柱だけで空洞になっており、駐車場として使われていたそうです。今の職員室や図書室、理科室、保健室などは、体育館下の空いたスペースを利用してつくられたようです。学校だより12号の写真をよく見ると、1階部分が、今の様子と違っていることがわかります。

Q5 金楽寺小学校は、台風のため、校舎が全壊（全部壊れてしまうこと）したことがある。

（答え：ア ある）

昭和10年の開校に向けて建設中であった木造校舎が全壊したそうです。その影響で校舎建設が遅れて、8月25日に完成し、9月1日に開校となりました。

Q6 金楽寺小学校は、戦争で爆弾が落とされ、校舎が全焼したことがある。

（答え：イ ない）

戦争によって校舎が全焼したとの記録は残っていません。しかし、尼崎市には8回にわたって、空襲があり、焼夷弾（しょういだん：火が燃え広がる爆弾）も落とされたそうです。今の阪神尼崎近辺や金楽寺、長洲の地などもかなりの被害があり、尼崎市全市では、497名もの尊い命が犠牲になったとの記録があります。幼い児童でも空襲で亡くなられた方もおられるようです。平和な世界を祈願してやみません。

（お詫びと訂正）第12号のQ6で「爆弾」とするところを「爆案」となっていました。訂正してお詫びします。

Q7 金楽寺小学校区付近に以前、「金楽寺」という駅名の電車の駅があった。

（答え：ア あった）

尼崎市南部へ貨物や乗客を乗せて、国鉄（いまのJR）が走っていました。その駅の一つに「金楽寺」がありました。校長が高校生の時は、何度も電車がはしているのを見たことがあります。尼崎港線とも呼ばれた鉄道は、南端は尼崎港駅でしたが、次第に乗客や貨物が減少し、昭和56年（1981年）には廃線となり、金楽寺駅も廃止されました。その跡地は、住宅や公園として生まれ変わっています。

Q8 金楽寺小学校の卒業生は、去年までで約何人でしょう。（答え：エ 約一万人）

去年までに九千六百人を超える卒業生を輩出しています。一万人を超えるのもそう遠くはありません。ちょうど一万人目の卒業生は、現在在校生の中から出てきそうです。（毎年卒業生は、クラス順や名前順で「第〇〇号」と順番がついています。）



歴史のある金楽寺小学校区の地域、尼崎には、素晴らしいところがたくさんあります。由緒ある神社やお寺、古くからあるお店や建物、たくさんの工場や企業。一見、どこにでもあるような工場でも、日本や世界に誇れるような製品を作り出している工場もあります。

そして、そこで暮らしたり、働いたりしている素晴らしい人たちがいます。地域には、まだまだ私たちが知らない魅力がいっぱい、いっぱい眠っています。

保護者やご家族のみなさん、教職員はもちろんですが、それ以外にも地域の方々、多くの企業やお店、事業所の方々など、たくさんの方々が金楽寺小学校の子どもたちを温かく見守り、支援してくれています。

そんな地域と学校に、誇りと愛着を持つことができる人に育ててほしいと願っています。